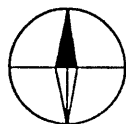
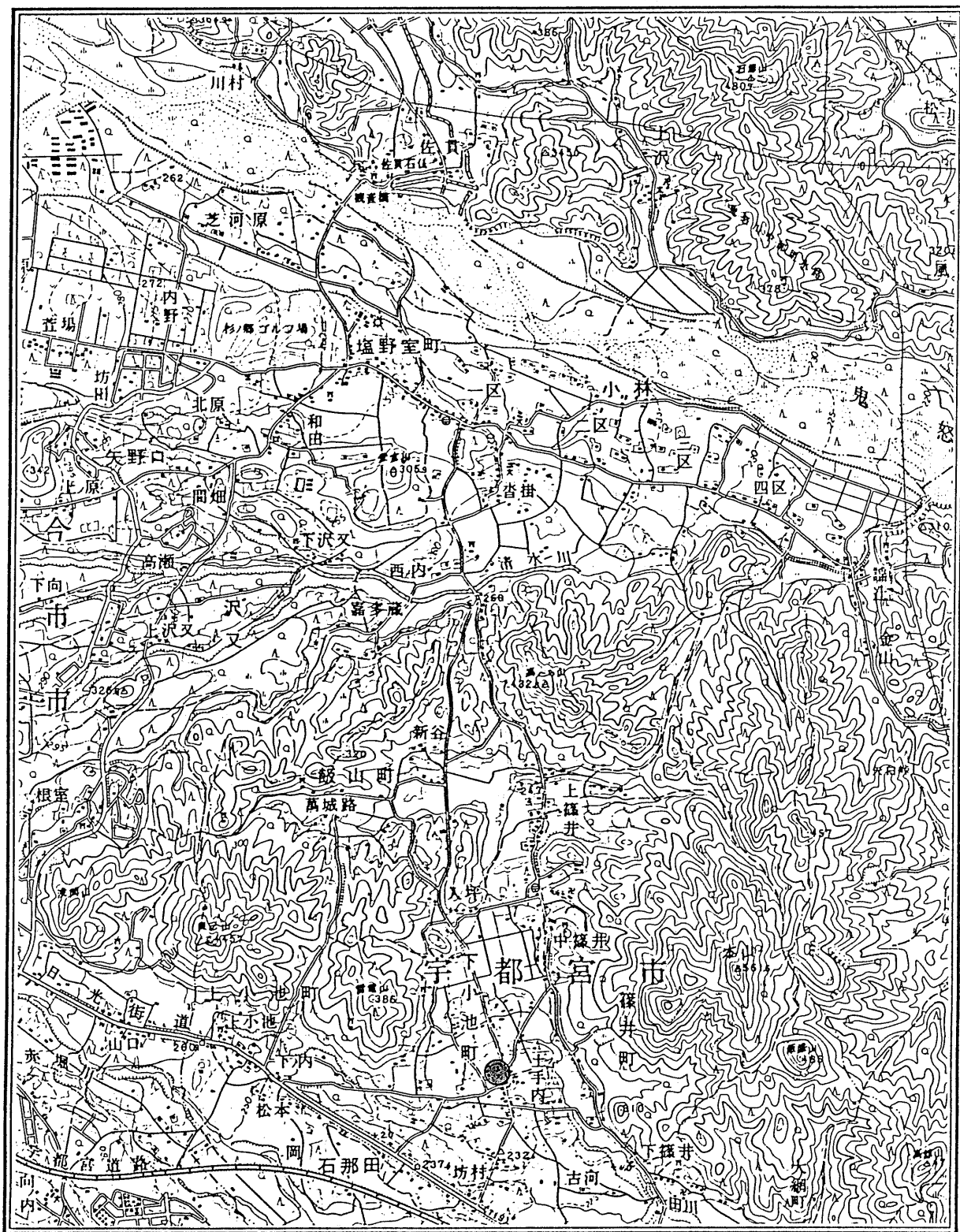


# ボーリング案内図

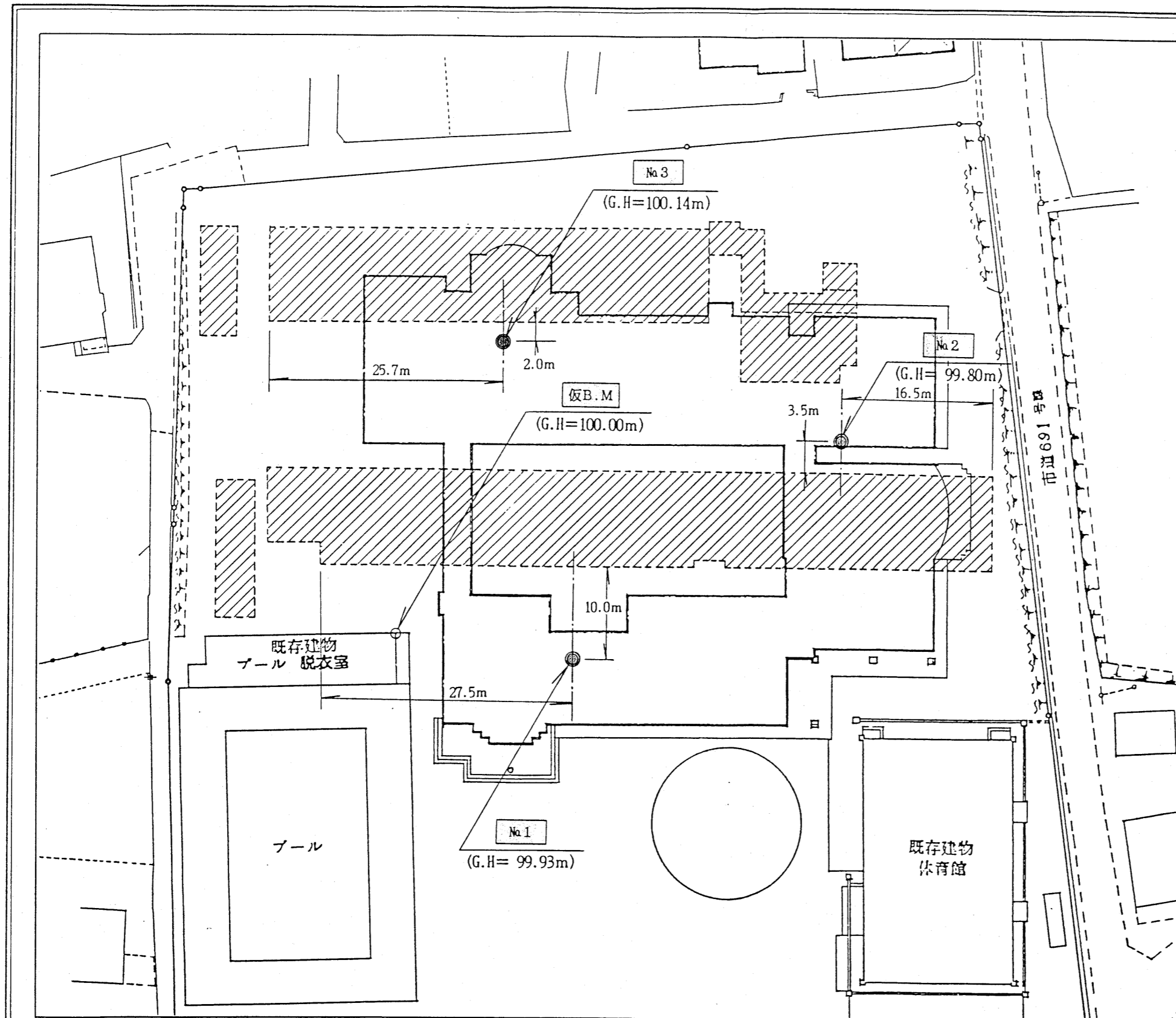
( 図 - 1 )



S=1:50,000

# ボーリング位置図

( 図 - 2 )



## 凡 例

### ■建物区分

: 既存建物 (解体予定建物)

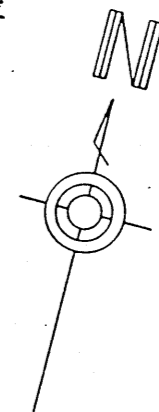
: 計画建物 (建築予定建物)

注) ボーリング位置は既存建物より測定する。

### ■地盤高

測 点	地 盤 高	摘 要
仮B.M	100.00m	記録写真を参照の事
No 1	99.93m	
No 2	99.80m	
No 3	100.14m	

### ■方 位

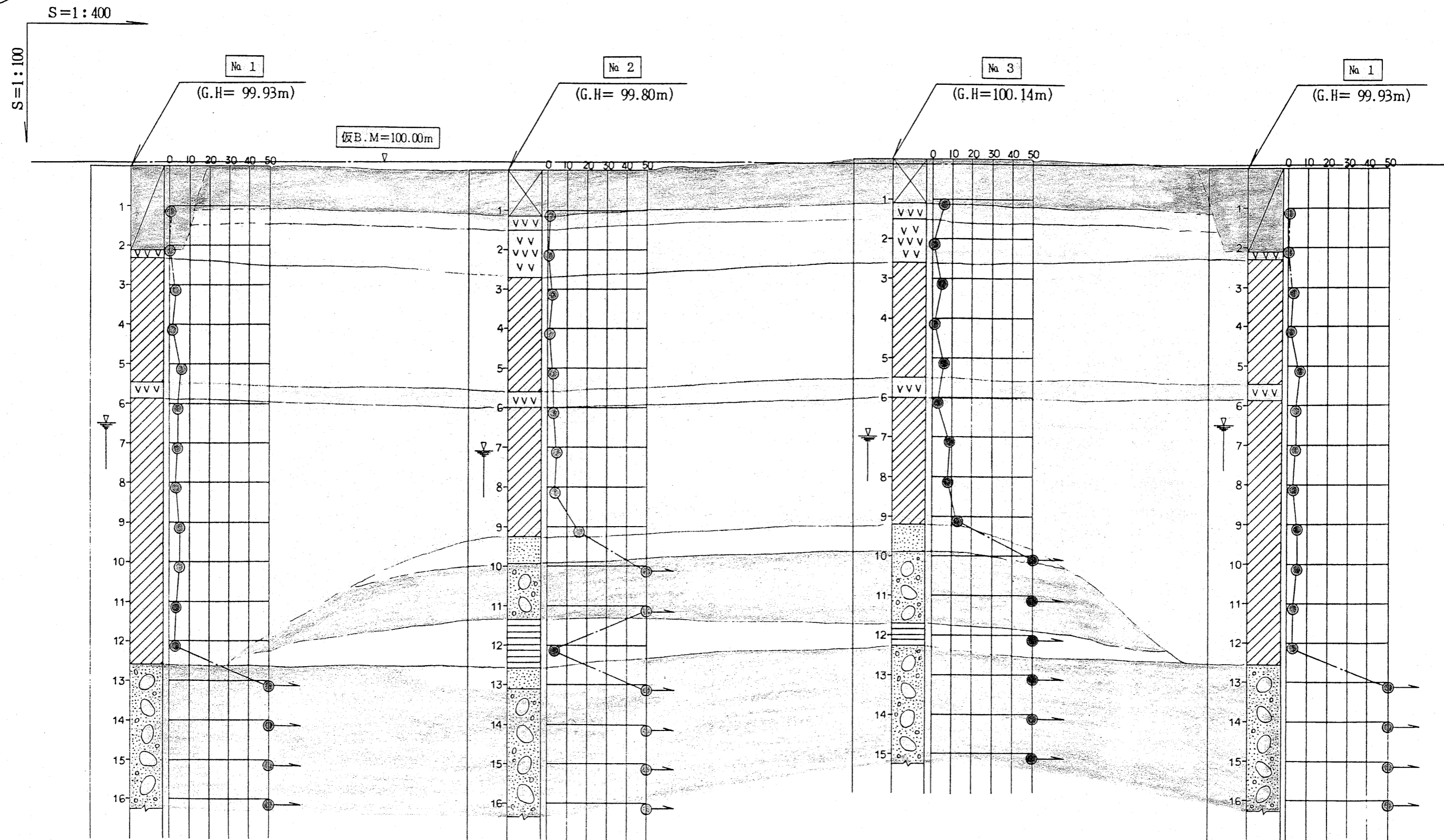


### ■図面縮尺

{ S=1:500 }

# 推定地質断面図

( 図 - 4 )



## 凡例

: 盛土
  : 表土
  : 浮石粒
  : 粘土
  : ローム
  : 粗砂
  : 砂礫

土質柱状図

報告用紙

調査名 篠井小学校校舎改築工事に伴う地質調査

調査年月日 平成5年1月5日

調査地点 宇都宮市下小池町569-37

(仮B.M=100.00m)  
標高 G.H= 99.93m m

~ 平成5年1月7日

ボーリング孔: No. 1

機種 ロータリー式

孔内水位(自然泥) G.L- 6.50m m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録				標準貫入試験						採取試料・原位置試験							
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 貫入量 回/cm	10 cm ことの 打撃回数			74μm通過質量百分率 (%)					試料 番号	測定 番号	深さ m	方注1) 注2)
										10 cm	20 cm	30 cm	N 値								
0																					
1							上初砂礫 下初速知りた片 を混入する。	1.15 1.60	1 45	1 45											
2		2.10 2.30	0.20	V	浮石茶礫		含水約10% 含水約10%均等	2.15 2.45	自沈	0 30											
3							含水約10% 3.60~3.75m内 8~15%内外の小礫 層に達す	3.15 3.45	3	1	1	1									
4							下初砂礫を混入する。	4.15 4.50	2 35	1 25	1 10										
5		5.45	3.15	V	浮石茶礫		含水約10% 約10%内外の小礫 層に達す	5.15 5.45	6	2	2	2									
6		5.85	0.40	V	浮石茶礫		含水約10% 約10%内外の小礫 層に達す	6.15 6.45	4	1	1	2									
7							含水約10% 約10%内外の小礫 層に達す	7.15 7.45	4	1	1	2									
8							9.0m付近同層に 達す。	8.15 8.45	3	1	1	1									
9							9.65~9.90m内 砂礫を混入する。	9.15 9.45	5	1	2	2									
10							10.0m付近砂礫 を混入する。	10.15 10.45	5	1	2	2									
11							下初砂礫を混入する。	11.15 11.50	4 35	1	1	2 15									
12							12.05~12.55m砂礫 を混入する。	12.15 12.45	3	1	20	2									
13		12.55	6.70		砂礫茶灰		12.55~15.00m内 互石多く含まれる	13.15 13.20	50 5	50 5											
14							最大φ250%内外 の互石が 礫径20~50%内 外に多い。	14.15 14.22	50 7	50 7											
15							15.15 15.40	50 25	17	22	11 5										
16		16.25	3.70		砂礫茶灰		16.15 16.25	50 10	50 10												

備考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンブラー
- F: フォイルサンブラー
- P: 標準貫入試験用サンブラー
- O: オーガー
- D: デニソン型サンブラー

# 土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調 査 名 篠井小学校校舎改築工事に伴う地質調査

調査年月日 平成4年12月25日

調 査 地 点 宇都宮市下小池町569-37

(仮B.M.=100.00m)

標 高 G.H.= 99.80m m

~ 平成4年12月28日

ボーリング孔：No. 2

機種 ロータリー式

孔内水位(自然泥) G.L.-7.10m m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験						採取試料・原位置試験					
				土質記号	土質名	色調	記 事	深さ m	打撃回数 貫入量 g/cm	10cmごとの 打撃回数			74μm通過質量百分率(%)						試料 番号
					N 値					0 10 20 30 40 50 60									
0							0.60m以内は不固土を呈す												
1		1.15	0.35	V	赤土層		下部は粘り	1.15	1	1	30								
2		1.50		V	浮石層		粘りが多い	1.45											
3		2.70	1.20	V	浮石層		粘りが多い	2.15	1	1	45								
4		3.15					粘り中位	3.15	3	1	35	1	15	1	10				
5		4.15					粘り中位	3.50											
6		5.15					粘り中位	4.15	1	1	30								
7		5.60	0.40	V	赤土層		粘り中位	4.45											
8		6.00					粘り中位	5.15	3	1	35	1	15	1	10				
9		6.15					粘り中位	5.50											
10		7.15					粘り中位	6.15	3	1	15	1	7	1	8				
11		7.45					粘り中位	6.45											
12		8.15					粘り中位	7.15	5	2	1	2							
13		8.45					粘り中位	7.45											
14		8.85					粘り中位	8.15	4	1	1	2							
15		8.45					粘り中位	8.45											
16		9.15					粘り中位	9.15	16	4	5	7							
17		9.45					粘り中位	9.45											
18		10.15	0.70		細砂		粘り中位	10.15	50	28	22								
19		10.35					粘り中位	10.35											
20		11.15	1.40		砂		粘り中位	11.15	50	28	22								
21		11.35					粘り中位	11.35											
22		12.15	1.20		粘土		粘り中位	12.15	4	2	1	1							
23		12.45					粘り中位	12.45											
24		13.15	0.55		細砂		粘り中位	13.15	50	14	15	21							
25		13.42					粘り中位	13.42											
26		14.15					粘り中位	14.15	50	50	10								
27		14.25					粘り中位	14.25											
28		15.15					粘り中位	15.15	50	19	28	3							
29		15.36					粘り中位	15.36											
30		16.15	3.21		砂		粘り中位	16.15	50	46	4	6							
31		16.31					粘り中位	16.31											

備考

注1) 試料採取方法の記号  
 T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー  
 P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー  
 D: デンソウ型サンプラー

注2) 原位置試験方法の記号

土質柱状図

報告用紙

調査名 篠井小学校校舎改築工事に伴う地質調査

調査年月日 平成4年12月25日

調査地点 宇都宮市下小池町569-37

(仮B.M=100.00m)  
標高 G.H=100.14m m

~ 平成4年12月28日

ボーリング孔: No. 3

機種 ロータリ式

孔内水位(自然泥) G.L-7.00m m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観察記録				標準貫入試験						採取試料・原位置試験					
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 貫入量 kg/cm	10cmごとの 打撃回数			74μm通過質量百分率(%) N値			試料 番号	測定 番号	深さ m	方法 注1) 注2)
0																			
1		1.10 1.50	0.40	V	赤土層	赤	植物混入 若干粘り 浮石混入	1.15 1.45	6	1	2	3							
2		2.60	1.10	V	赤土層	赤	含水多し 粘り不均質	2.15 2.75	1	0	1	50							
3							砂質分を混入 3.90m付近粘土質 を呈す	3.15 3.45	5	1	2	2							
4							4.70m付近より砂 質分多し混入	4.15 4.45	1	1	30								
5		5.50	2.90		赤土層	赤		5.15 5.45	6	2	2	2							
6		6.00	0.50	V	赤土層	赤	含水多し粘り 粘り不均質	6.15 6.45	3	1	1	1							
7							7.0m付近より砂質 分多し混入	7.15 7.45	9	2	2	5							
8							8.0m付近より粘り を呈す	8.15 8.45	8	2	2	4							
9		9.20	3.20		赤土層	赤		9.15 9.45	13	2	4	7							
10		9.90	0.70		砂礫層	灰	粘り不均一、下部砂質分	10.15 10.35	50	20	23	27							
11							含水あり 礫径φ10~40mm内 外の砂質分	11.15 11.25	50	10	50	10							
12		11.70 12.25	1.80 0.55		砂礫層	灰	粘り不均一、下部砂質分	12.15 12.38	50	23	2	20	28/3						
13							礫径φ10~40mm内 外の砂質分 最大径φ100mm内外 の玉石を介し 下部含水多し	13.15 13.23	50	8	50	8							
14								14.15 14.28	50	13	35	15/3							
15		15.25	3.00		砂礫層	灰		15.15 15.25	50	10	50	10							

備考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンブラー
- F: フォイルサンブラー
- P: 標準貫入試験用サンブラー
- O: オーガー
- D: デニソン型サンブラー